

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（ナシム＝NASHIM）の概要

NASHIM=Nagasaki Association for Hibakushas' Medical Care

1 代表者 会長 森崎 正幸（長崎県医師会会長）

2 事業目的

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）は、在外被爆者及び世界各地で発生している放射線被曝事故による被災者を救済するため、長崎が有する被爆者治療の実績及び放射線被害に関する調査研究の成果を有効に活かすべく、国外からの医師等の受入研修、国外への専門家派遣及び専門図書等の発刊・寄贈などを実施し、ヒバクシャ医療を通じて長崎から世界への貢献と国際協力の推進に寄与する。（平成4年発足）

3 事業内容

医師等受入研修事業

専門家派遣事業

講演会開催等普及啓発事業

医学教科書等の出版事業（2年に一回実施）

永井隆平和記念・長崎賞（2年に一回実施）

4 構成

長崎県医師会、長崎市医師会、長崎大学、長崎大学医学部、長崎大学病院、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、長崎大学原爆後障害医療研究所、日本赤十字社長崎原爆病院、放射線影響研究所、長崎原子爆弾被爆者対策協議会、長崎平和推進協会、長崎県、長崎市

5 受入研修者数

年 度	H5 ～ 14	H15 ～ 24	H25 ～ 30	R1	R5	R6	計
口 シ ア	11	12	8	1	0	0	32
ベ ラ ル ー シ	17	33	12	2	0	0	64
ウ ク ラ イ ナ	13	11	5	1	0	0	30
カ ザ フ ス タ ン	9	18	11	2	5	5	45
ア メ リ カ	1	0	0	0	0	0	1
韓 国	27	112	87	16	17	10	269
計	78	186	123	22	22	15	446
うち、チルノブイリ・ ガッファの関係	50	74	36	6	5	5	176